

安和小学校 第1学年 国語科学習指導案

平成27年1月20日(火) 第5校時

男子4名 女子2名 計6名

指導者

【主な指導事項】

- ・文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと (C読む(1)エ)
- ・文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。

(C読む(1)オ)

【具体的な言語活動】

- ・物語や、科学的なことについて書かれた本や文章を読んで、感想を書くこと。(C読む(2)エ)

1. 単元名 いろいろなやりかたをくらべてかんがえよう

教材名 歯が抜けたらどうするの(東京書籍下)

2. 単元とその指導(キャリア視点)

(1) 単元について

一～六年を通して学年最後の説明文は、多面的なものの見方や考え方をみにつけることをねらいとしている。「歯が抜けたらどうするの」の説明文でも、その読み取りを通して、一つの事象に対して様々な見方や考え方があることに気づき、そこから自分が考えたことを伝え合う力をつけることを目標にしている。

児童は乳歯から永久歯に歯が生え変わる時に、世界の国々の子どもたちはどんなことをしているのか、書かれた文章を読み、いろいろなやり方を知る。さらに、それぞれの国のやり方を比べることで、似ているところを発見したり共通する願いに気づいたりする。その読み取りを踏まえて、自分ならどの国のやり方をしてみたいか、今度はどんなことをしてみたいかと自分に引きつけて考える。こうした活動を通して、身の回りの様々な事象に対して、これまでの自分の経験にないものの見方や考え方があることに気づき、そのことに興味を持たせることを大事にしていく単元である。

(2) 児童について

本学級の児童は、説明文「どうやってみをまもるのかな」では「正確に読み取る」、「いろいろなふね」では「情報を収集して活用する」活動を通して読解力を身に着ける学習を行ってきた。しかし、児童の中には問いに対して、その答えとなる部分を文章中から見つけることが難しかったり、音声では受け答えできるが文章では正しく表現できにくい児童がいる。また、新しいことには不安がる児童がいるため、授業パターンを決めること、教師がその児童につく時間を設定するなどして安心して学習に取り組めるようにしていきたい。

1学期からの歯科指導では、乳歯が生え変わることや6歳臼歯など興味を持って学習に取り組んでいた。実際、今現在、歯が生え変わる時期と重なっているため、本教材は児童にとって関心のあるものと言えるだろう。世界の国々については、1学期のひらがな学習で外国の言葉が出るなど、児童にとって関心のある事柄であるが、国によっては全く知らない場所もあるので、世界地図や写真などを活用して少しでも身近に感じる内容にしていきたい。

(3) 指導について

本単元の指導に当たっては、それぞれの国のやり方を読み解くのは、自分がこの単元の最後にどのやり方をしたいのか発表するためという目的意識を持たせて取り組みを進めていきたい。それが児童自ら意欲的に取り組みを進めることにつながるからである。

本時の指導でそれぞれの国の提示の中で「すること」「言うこと」「理由」を考える場面では、自分の考えを友だちに分かるように伝えさせる学習活動を大切にしたい。聞く側の児童においても自分の考えと比べながら最後まで話を聞くことが人間関係形成・社会関係形成能力とつながることを、児童の実態に合わせた表現で、折に触れ伝えていくようにする。また、それぞれの国のやり方を読み取る際には、どんなことをしたり言ったりするかを表す大事な言葉を見つけて、それを利用しながら内容を正しく読み取らせていきたい。

3. 単元の目標

いろいろなやり方を比べて、自分ならどうするかを考えながら読む。

4. 単元の評価規準

国語科への関心・意欲・態度	読むこと	言語についての知識・理解・技能
いろいろな国のやり方に興味を持ちながら読み、ものの見方を広げようとしている。	順序に気をつけて読み、書かれている内容を正しく読みとっている。 いろいろな国のやり方を比べ、自分ならどうするか考えながら読みとっている。	自分の考えをまとめるために、文章に書かれている大事な言葉や文を書き抜こうとしている。

5. 指導と評価の計画（全13時間 本時5/12）

	主な学習活動	評価				
		関	読	言	評価規準	評価方法
第一 次 2 時 間	学習の見通しを持つ ・範読を聞いて内容の大体をとらえ、初発の感想を発表する。（1）	○			初めて知ったことやおもしろかったことなどを意欲的に話そうとしている。	発言 行動観察
	・教材のねらいを確かめ、学習の見通しを持つ。（1）	○			いろいろな国の子どもたちがしていることに興味を持って、学習に取り組もうとしている。	発言 行動観察
第二 次 5 時	いろいろな国のやり方を読み取り、表に整理する。 ・導入の部分を読んで、日本ですることについて整理してまとめる。（1）		○	○	叙述をもとに、抜けた歯をどうするか、なぜそうするのかを事柄のまとまりをとらえて読んでいる。大事な言葉や文を書き抜いている。	ワークシート 発言

間	・「かんこく」「ちゅうごく」について読み、内容を整理してまとめる。(1)		○	○	叙述をもとに、抜けた歯をどうするか、なぜそうするのかを事柄のまとまりをとらえて読んでいる。大事な言葉や文を書き抜いている。	ワークシート 発言
	・「イギリス」「メキシコ」について読み、内容を整理してまとめる。(1)		○	○	叙述をもとに、抜けた歯をどうするか、なぜそうするのかを事柄のまとまりをとらえて読んでいる。大事な言葉や文を書き抜いている。	ワークシート 発言
	・「レバノン」「ボツワナ」「リビア」について読み、内容を整理してまとめる。(1)		○	○	叙述をもとに、抜けた歯をどうするか、なぜそうするのかを事柄のまとまりをとらえて読んでいる。大事な言葉や文を書き抜いている。	ワークシート 発言
	いろいろな国のやり方の共通点や相違点を見つける。(1)		○	○	文章を読んで、様々な国のやり方の似ているところや違うところを見つけている。	発言 ワークシート
第3 次 4 時間	・自分はどの国のやり方をしてみたいか、それはなぜかを文章に書く。(2)		○	○	読み取った各国のやり方の中から自分のしてみたいやり方を選び、選んだ理由と合わせて書いている。	ワークシート 発言
	・これまで自分がしていたこと、これからどうしたいかを文章に書く。(2)		○	○	自分の経験とこれからしたいこと、その理由を整理して書き、文章を読み合って自分と比べて感想を述べている。	ワークシート 行動観察
第4 次 2 時間	・自分の経験やこれからしてみたいことを発表し、学習をまとめることができる。(2)		○	○	文章の内容を自分の経験と結びつけながら読み、自分ならどうしたいかを考えて発表したり、友達の思いや考えを自分と比べたりしている。	発言 行動観察

6. 本時の指導

(1) 目標

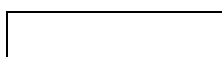
- ・イギリス、メキシコについて、大事な言葉や文を書き抜き、内容を整理してまとめることができる。
- ・友だちの話を最後まで聞き、自分の意見を分かりやすく発表することができる。(ともまなび)

(2) 展開

学習活動	指導上の留意点	評価規準
1. 本時のめあてを知り、授業の流れを知る。 イギリスとメキシコでは、はがぬけたとき、どんなことをするのだろう。	・前時に書いた表を確認する。	読 叙述をもとに抜けた歯をどうするか、なぜそうするのかを事柄のまとまりをとらえて読んでいる。
2. 二つの国について書いてあるのはどこか確かめ、音読する。	・音読のめあてにそって意識して読ませる。	
3. イギリスについて歯が抜けた時どうするかを「すること」「りゅう」「いうこと」について考える。	・することの記載はあるが、言うことはないので、歯の妖精は何をするか想像させ、イギリスの子どもは何をいうか考えさせる。	
4. メキシコについて考える。	机間巡視をして、子どもたちを支援していく。 (S 児への配慮)	
5. 表にまとめたことを発表する。	一人ひとりが発表する。 質問、感想を発表する機会を持たせる。	
6. たしかめる。 はがぬけたとき、イギリスはねるまえにまくらの下にぬけたはをおき、メキシコははこに置いて、ベッドのわきのテーブルにおく。		
7. ふりかえる		



直接指導



間接指導（リーダー学習）

(3) 評価規準

・叙述をもとに抜けた歯をどうするか、なぜそうするのかを事柄のまとまりをとらえて読んでいます。【読】

B 概ね満足できる状況

文章を読んでメキシコについて「すること」と「りゅう」を書くことができる。